



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月27日

上場会社名 JFEシステムズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4832 URL https://www.jfe-systems.com  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大木 哲夫  
 問合せ先責任者(役職名) 総務部長 (氏名) 高橋 学 (TEL) (03)5418-2400  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	11,915	4.2	1,042	4.8	1,055	4.8	668	7.7
2021年3月期第1四半期	11,432	9.3	994	34.0	1,007	37.4	620	34.7

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 621百万円(0.6%) 2021年3月期第1四半期 617百万円(11.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	42.53	—
2021年3月期第1四半期	39.50	—

当社は2021年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の計算においては2021年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定した上で算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	35,540	20,760	56.5	1,278.62
2021年3月期	36,129	21,074	56.4	1,298.06

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 20,081百万円 2021年3月期 20,386百万円

当社は2021年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産の計算においては2021年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定した上で算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は2021年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行っております。年間配当金の表記につきましては、2021年3月期は分割前の1株当たり配当金を、2022年3月期(予想)は分割後の1株当たり配当金を記載しております。

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	3.3	4,760	2.0	4,800	2.2	3,100	0.5	197.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 税金費用の計算は見積りに基づく方法によっております。詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期1Q	15,706,000株	2021年3月期	15,706,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	980株	2021年3月期	980株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期1Q	15,705,020株	2021年3月期1Q	15,705,020株

(注) 当社は2021年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行っております。「2021年3月期」及び「2021年3月期1Q」の期末発行済株式数 (自己株式を含む)、期末自己株式数、期中平均株式数 (四半期累計) においては2021年3月期期首に当該分割が行われたと仮定した上で算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年6月30日まで)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさから持ち直しの動きがあるものの、変異ウイルスによる感染拡大など、予断を許さない状況にあります。

情報サービス業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけとしたテレワーク環境の整備などの需要増に加え、企業の情報システム投資も堅調に推移するなど、一定の水準で推移していくものと考えております。

このような事業環境の下、当社グループは、現下のコロナウイルス感染拡大による先行き不透明な状況を踏まえ、次期中期経営計画の策定を1年先延ばしし、2022～2024年度の3か年計画といたします。2021年度は、次期中期経営計画に向けた準備期間と位置付け、単年度計画の下で、「JFEスチール製鉄所システムリフレッシュの遂行」、「ソリューション事業の拡大」、「基盤サービス事業の拡大」を中心とした主要課題に取り組み、収益確保を目指してまいります。

これらの事業の推進にあたっては、昨年から引き続き、在宅勤務を活用し、従業員の感染リスクの低減と事業の継続を両立してまいります。

当第1四半期連結累計期間の営業成績につきましては、一般顧客部門の製造業向け事業の回復などにより連結売上高は前年同四半期比483百万円(4.2%)増の11,915百万円、営業利益は前年同四半期比48百万円(4.8%)増の1,042百万円、経常利益は前年同四半期比48百万円(4.8%)増の1,055百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比47百万円(7.7%)増の668百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比589百万円減の35,540百万円となりました。このうち流動資産は、仕掛品、預け金の減少等により前連結会計年度末比214百万円減の25,547百万円となりました。また、固定資産は、減価償却の進行等により前連結会計年度末比374百万円減の9,993百万円となりました。

一方負債合計は、未払法人税等の減少等により前連結会計年度末比274百万円減の14,781百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益を668百万円計上した一方、剰余金の配当を942百万円行ったこと等により、前連結会計年度末比314百万円減の20,760百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、前回予想(2021年4月26日)から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	329,317	283,855
受取手形及び売掛金	9,119,244	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	9,795,343
商品	12,997	25,680
仕掛品	860,863	97,442
貯蔵品	21,027	2,638
預け金	13,950,000	13,620,000
その他	1,468,549	1,722,877
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	25,760,998	25,546,835
固定資産		
有形固定資産	3,032,997	2,852,737
無形固定資産		
のれん	718,503	695,913
その他	2,532,312	2,508,242
無形固定資産合計	3,250,816	3,204,154
投資その他の資産		
その他	4,101,257	3,953,839
貸倒引当金	△17,340	△17,340
投資その他の資産合計	4,083,917	3,936,499
固定資産合計	10,367,730	9,993,390
資産合計	36,128,728	35,540,225

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,020,927	2,187,692
未払法人税等	1,054,783	421,729
受注損失引当金	—	188,619
その他	6,343,112	6,489,316
流動負債合計	9,418,821	9,287,355
固定負債		
退職給付に係る負債	4,016,170	4,054,648
その他	1,620,094	1,438,611
固定負債合計	5,636,263	5,493,259
負債合計	15,055,085	14,780,614
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,390,957	1,390,957
資本剰余金	1,959,444	1,959,444
利益剰余金	16,351,623	16,113,836
自己株式	△966	△966
株主資本合計	19,701,058	19,463,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	670,142	604,667
退職給付に係る調整累計額	14,816	12,858
その他の包括利益累計額合計	684,958	617,525
非支配株主持分	687,627	678,815
純資産合計	21,073,643	20,759,611
負債純資産合計	36,128,728	35,540,225

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	11,432,185	11,915,296
売上原価	8,944,640	9,344,439
売上総利益	2,487,545	2,570,856
販売費及び一般管理費	1,493,721	1,529,052
営業利益	993,824	1,041,804
営業外収益		
受取利息	2,450	3,056
受取配当金	10,441	9,671
受取手数料	1,693	1,638
その他	12	6
営業外収益合計	14,595	14,371
営業外費用		
支払利息	951	872
その他	148	27
営業外費用合計	1,100	899
経常利益	1,007,320	1,055,276
税金等調整前四半期純利益	1,007,320	1,055,276
法人税等	364,128	366,740
四半期純利益	643,192	688,537
非支配株主に帰属する四半期純利益	22,771	20,630
親会社株主に帰属する四半期純利益	620,421	667,907

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	643,192	688,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,563	△65,525
退職給付に係る調整額	4,503	△1,959
その他の包括利益合計	△26,060	△67,483
四半期包括利益	617,132	621,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	594,277	600,474
非支配株主に係る四半期包括利益	22,855	20,580

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、一定期間にわたり充足される履行義務のうち、工事契約に関する会計基準に定める工事進行基準の適用外だった履行義務については、重要性が乏しい場合を除き原価比例法または原価回収基準により収益を認識するよう改めています。また、当社が代理人に該当し、顧客への財又はサービスの提供を第三者に手配する履行義務については、純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しており、当期首の利益剰余金残高は36,550千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は286,434千円、売上原価は169,275千円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ117,158千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は81,894千円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。